

平成26年度

第2回宇治市小中一貫教育推進協議会 資料

平成27年3月4日（水曜日）
18時00分～
宇治市役所 602会議室

目次

1	平成26年度宇治市小中一貫教育取組状況	…	1
2	平成26年度中学校ブロック年度総括表		
	・宇治中学校ブロック	…	3
	・北宇治中学校ブロック	…	4
	・槇島中学校ブロック	…	5
	・西小倉中学校ブロック	…	6
	・西宇治中学校ブロック	…	7
	・南宇治中学校ブロック	…	8
	・宇治ひろの学園（広野中学校ブロック）	…	9
	・東宇治中学校ブロック	…	10
	・木幡中学校ブロック	…	11
	・宇治黄檗学園（黄檗中学校ブロック）	…	12
3	平成26年度宇治市小中一貫教育推進協議会の活動報告	…	13
4	平成26年度宇治市小中一貫教育に係る視察受入状況	…	14

平成26年度 宇治市小中一貫教育中学校ブロック取組状況(1)

一貫教育課

		◎ ブロック目標 ○ 運営組織体制 □ チーフコーディネーター校務分掌 ◇ 教科連携教員教科等	○ 合同研修会	○ 夏期研修会	○ 授業研究会	○ 体験活動 □ 児童生徒交流活動	○ 保護者・地域を巻き込んだ取組	○ 学力診断テスト活用 □ 授業システム ◇ 家庭学習の取組	○ その他 □ 研究指定事業 ◇ 小・小連携
1	宇治中B	◎「ふるさと宇治を愛し、未来を展望し、たくましく生き方を求め続ける児童生徒の育成」 ○ブロック校長会、事務局、コーディネーター会議、9専門部会 □中学校教務主任 ◇【市:英語】	○小中合同研修会4回 (5/14,8/21,10/29,1/28)	○夏期研修会(8/21) ・全体会(講演) ・家族システムから子どもの仮題と家族支援を考える」京都文教大学柴田長生氏 ・9専門部会(授業研究会事前研等)	○4専門部会公開授業研究会 ・人権・道徳部会(10/16) 菟道小 ・外国語・英語部会(10/17) 宇治中 ・授業づくり部会(10/29) 宇治中 ・宇治学部会(1/28) 菟二小	○半日体験入学(11/12) ・授業体験 ○小学校職場体験(6/10~12) ○ふるさと宇治21(12/13) ・部活体験 □部活動指導 ・駅伝、マーチング □児童会生徒会交流	○ふるさと宇治21(12/13) ○宇治橋通りわんさかフェスタ ・作品展 ・「子どものお屋さん」展(菟道小) ・吹奏楽部演奏 ○市福祉まつり ・吹奏楽部演奏	○小中連携による「ブロックとしての家庭学習のあり方」	○小学校6年生に対する「春休みの宿題」配布 ○中学校教員による「中学校準備講座」 ◇小中連携による「ブロックとしての家庭学習のあり方」
2	北宇治中B	◎「自ら考え、自発的に表現できる子・人と地域のつながりの中で豊かな心を育て他を大切にできる子・運動に親しむことにより、楽しく生活できる子」 ○小中一貫教育推進委員会(校長部会、教頭部会、教務主任部会、研究推進部会、コーディネーター部会)、養護教員部会、事務局、教科部会、教科外部部会 □中学校教務主任 ◇【市:英語・保体】	○小中合同研修会3回 (6/16・8/21・2/16) ・6/16 授業参観、教科部会 ・8/21 夏期研修会 ・2/16 全体会、教科外部部会によるまとめ、評価	○夏期研修会(8/21) ・全体会 ・教科、領域部会(研究授業事前研) ・教科外部部会	○授業研究会(10/24) ・小倉小学校13学級 ・事前研(8/21)	○中学校入学体験 ・授業、部活動 □小中合同クイズコンテスト(12/6) □児童会生徒会交流会(10/22) □書き損じハガキの取組	○保護者・地域講演会(6/21) ・講演「子どもの見方、育て方」桶谷教授 ○保護者向け資料の作成	○府学カテスト 質問紙と学力の相関を分析 ◇中学校宿題量の一定化	○「中学校へのパスポート」実施
3	横島中B	◎「豊かな人間性と未来を創造する子どもの育成」 ○「夢・未来」会議(校長、教頭、教務主任、コーディネーター)、4専門部会 □中学校教務主任 ◇【市:英語】	○小中合同研修会3回 (6/20,8/18,11/21) ・生指 統一した指導 ・特支 通常級在籍児童生徒への支援手立て ○小学校授業公開(5/21) ○中学校授業公開(6/20) ○合同授業研(11/21) ○小中連絡会(6/10)	○夏期研修会(8/18) ・「横中ブロック児童生徒の学力実態について」 ・委員会、3部会(授業事前研) ・教科、領域部会	○授業研究会 ・横島小学校(11/21) ・国(6年)外(5年)算(2年) ・6月,8月に事前研	○中学校体験入学(11/12) ○小学校職場体験(10/28,29,30) ○小・中学生の主張交流大会(3/6) ○児童会・生徒会のあいさつ運動(10/27,28,12/16,17)	○北横島小学校区青少年健全育成協議会「夏祭り」(8/2)	○府学テ、全国学テの分析公表 ・夏期研において実施 ・小学校間、経年分析 ◇「家庭学習ナビゲーション」の活用 ・保護者懇談会で説明	
4	西小倉中B	◎「小中9年間を通して、地域と共に子どもたちの豊かな心と確かな学力をほぐくむ」 ○研究推進委員会、校長部会、教頭部会、コーディネーター部会、養護教員部会、栄養・給食部会、事務職員部会、3部会 □小学校教務主任 ◇【府:保体】	○小中合同研修会7回 (5/21・6/26・7/31・8/22・11/13・11/27・2/13) 3部代表者会議(5/21・1月末) 合同授業研究会(西小倉中学校・11/13) 夏季研修会・合同授業事前研(7/31・8/22) 合同研修会まとめ	○夏期研修会(7/31) ・家庭学習に係る講演(村上教授)京教大 ・3部会(8/22) ・学力分析 ・生徒指導報告 ・合同授業研究会事前研究会(教科、領域部会) ・家庭学習アンケート報告と方針	○授業研究会(11/13) ・西小倉中学校 ・1,2年特支級計8学級 ・事前研究会(8/22)	○中学校入学体験(12/2) ○小学校職場体験(6/19・20) □児童生徒会合同学習会(12/10)講演「私たちの生活と自然環境」中西宣夫氏 ○児童生徒会交流 ・募金運動(12/13) ・あいさつ運動 ・エコキャップ収集	○家庭学習促進講演会(4/19・11/8)・村上教授(京都教育大)・原教授(佛教大) ○家庭学習促進についての懇談会(6/17・10/17・2/18) ○家庭学習促進についての懇談会(6/17・10/17・2/18) ○家庭学習児童・生徒・保護者アンケート(5・7・10・12月) ○「学びノート」の紹介、活用方法を揭示 ○ノーマディアウィーク(10月・1月) ○ふるさと事業(世代間交流)夏祭り」等地域行事に参加	○家庭学習促進講演会(4/19・11/8)・村上教授(京都教育大)・原教授(佛教大) ○家庭学習促進についての懇談会(6/17・10/17・2/18) ○家庭学習保護者アンケート(5・7・10・12月) ○小学校で「学びノート」を使って家庭学習 ○「学びノート」の紹介、活用方法を揭示 ○授業システム 小学校で「聴き方」「話し方」スキルを揭示小中で授業での「めあて」「ポイント」「まとめ」の提示 中学校での授業の流れの提示 ○学力診断テストの分析結果を授業に反映させる取組	○家庭学習促進実践事業研究指定(H25・26) ・保護者アンケート・自主学習ノート作成、活用・学習支援員活用・講演会・懇談会 ○家庭学習だより「家庭学習のすすめ」3号発行 ○小中一貫教育推進ニュース(保護者・地域)(教職員向け)3号発行 ○6年入学前春休み宿題
5	西宇治中B	◎「自立への学びと社会性の育成を推進し心豊かでたくましい人間を育てる」 ○小中一貫教育推進会議(ブロック校長会、コーディネーター部会)、教頭部会、3部会 □中学校(学年所属なし) ◇【市:英語】	○合同研修会(6/20・8/22・10/29) ○三部会交流会	○夏期研修会(8/22) ・事前研究会 ・学力分析 ・生徒指導交流	○授業研究会(10/29) ・公開授業 ・事後研究会	○小学校職場体験(5/26) ○中学校体験入学(11/12) ○中学生による小学生への部活指導(毎学期) □「朝の挨拶運動」	○夏祭り・左義長 ○地域懇談会での小中一貫教育報告 ○地域パトロール ○中学校授業参観への小学校保護者の参加	○「家庭学習のてびき」活用 ○府学カテストの分析	

平成26年度 宇治市小中一貫教育中学校ブロック取組状況(2)

一貫教育課

	◎ ブロック目標 ○ 運営組織体制 □ チーフコーディネーター校務分掌 ◇ 教科連携教員教科等	○ 合同研修会	○ 夏期研修会	○ 授業研究会	○ 体験活動 □ 児童生徒交流活動 ◇ 小・小連携	○ 保護者・地域へ見える取組	○ 学力診断テスト活用 □ 授業システム ◇ 家庭学習の取組	その他 □ 研究指定事業
6	南 宇 治 中 B ◎「夢や希望を持ち、未来をたくましく生きぬく児童生徒の育成」 ○推進委員会(校長、教頭、コーディネーター、小中連携加配、部長)、8専門部会 □中学校教務主任 ◇【府:音楽】:推進委員会に参加	○小中合同研修会4回 (5/15・5/23・6/25・8/22)	○夏期研修会(8/22) ・講演「ユニバーサルデザインの視点を取り入れた学級経営」 ブル学院大 松久 真実 氏 ・講演「情報モラル」 Compallet 桐野 志摩美 氏 環太平洋大学 平松 茂 氏 ・部会 ・推進委員会	○授業研究会 ・小学校 外国語活動 ・小学校 国語 ・合同研修会で事前研実施	○小学6年生授業・部活体験(10/7) ○中学生による小学生クラブ指導支援(1/27・1/30) ○地域清掃ボランティア活動(6/18・12/2) □中学校中国文化芸術部と小学生との交流(6/26) □児童会生徒会合同あいさつ運動(11/4～11/7) ◇西大久保小6年生対象帰国外国人児童生徒理解学習(10/17)	○土曜参観(5/10,11/8,6/7,6/14) ○三校合同講演会 ○グローバルフェスタ南宇治(11/8) ○西大久保新春三代交流会(1/11) ○平盛ふるさとまつり(2/8) ○大久保青少年指導センター子ども文化祭(3/21)	○学力診断テスト活用 ・夏期研修において府学力診断テスト分析 ・中1結果の小学校別分析	◇小小連携授業 ・宇治学、国語、国際理解教育
7	広 野 中 B ◎「夢や希望を持って未来を切り拓ける児童生徒の育成」 ○学校運営部会(ブロック校長会)、教頭部会、事務局部会(コーディネーター部会)、8専門部会 □小学校教務主任 ◇【府:数学】	○宇治ひろの学園小中一貫教育研究会 (5/20・8/20)	○夏期研修会(8/20) ・実践発表(特別支援教育) ・部会報告 ・分散会(授業研交流、事前研等)	○ブロック内各校授業研への相互参加 ・8/20に合同学年会において事前研 ○中学校体験入学時 ・11/21に小中教員によるTT授業	○HOT-MEETING(3校合同児童生徒会)(年3回) □エコキャップ・プルトップ回収 □3校合同あいさつ運動 □中学生による小学生への読み聞かせ □中学生による小学校クラブへのアシスタントティーチャー □「福島ひまわり里親プロジェクト」	○3校合同地域懇談会(7/4) ○3校合同保護者向け講演会(10/25) ○3校合同保護者懇談会(11/19) ○大久保青少年協会の主張大会(2/14)	○学力診断テスト活用 ・夏期研修において府学力診断テスト分析結果報告(3校分) ・課題の確認と課題克服について検討 ◇3校合同保護者向け講演会(10/25) ・小木氏(福井市立光陽中学校校長) 今川氏(福井市立光陽中学校PTA会長)	○中学校教員の小学校体験研修 ・広中教員(20～30代全員)が小学校にて半日体験研修を実施 □家庭学習促進実践事業研究指定(25/26年度) ・支援員活用 ・保護者向け講演会開催 ◇各校の行事、学習予定・取組等の交流、授業研交流
8	東 宇 治 中 B ◎「命を輝かす人間」 ○ブロック運営委員会(校長、教頭、コーディネーター、小中連携加配)、ブロック校長部会、ブロック教頭部会、コーディネーター部会、推進3部会 □中学校教務主任 ◇【府:英語】運営委員会に参加	○合同研修会 (5/14・8/22)	○夏期研修会(8/22) ・講演「子どもたちのネット利用について考える」浅田先生(華頂短大) ・分科会(3部会) 「家庭学習のてびき」 「ブロック学力実態」 「生徒指導の事例交流」 「児童会・生徒会の取組交流」	○小中合同授業研究会(5/14) ・東宇治中学校 ・1年全クラス	○小学生中学校体験入学(11/12) □エコキャップ回収 ・セレモニー(2/18) □部活交流 ・駅伝練習(10/22三室戸小学校) ○冬のお楽しみ会(12/20南部小学校)	○PTA(育友会)合同研修会(11/5) ・講演「子どもが進んで学ぼうとする力の育成」村上先生(京都教育大学) ○おおばくまつり(12/14)	◇家庭学習の手引き作成	○中学校より「スクールライフサポートブック」を小学校6年生に発行
9	木 幡 中 B ◎「故郷(ふるさと)で夢や希望をはぐくみ、未来を切り拓く児童生徒」 ○ブロック校長会、ブロック教頭会、一貫教育推進委員会、8教科部会、6領域部会 □中学校 ◇【府:保体】	○小中合同研修会3回 (6/2・8/22・11/19)	○夏期研修会(8/22)	○小中合同授業研究会(11/19)	○小学生中学校体験入学(11/12) □中学生の小学生との部活動交流 □児童会・生徒会交流 ◇三校交流(6/25,11/21)	○ブロック小中学校授業公開・運動会	○「学習のてびき」作成・活用 □中学校授業研究会「学びの森」への小学校教員の参加 ◇小学校卒業後の「春休みの学習課題」の実施と改訂	◇三校交流(6/25,11/21)
10	黄 檜 中 B ◎「高い志を持ち、他者と協調しながら、たくましく生き抜く人間を育成する」 ○小中一体の組織を構成 □小学校教務主任 ◇【市:英語】	○年3回程度の合同研修会 ・特別な配慮を要する児童生徒に関する研修 ・児童生徒実態交流(随時) ・学習指導理論研修会(随時) ・「危機管理～保護者対応～」 園部敬英氏(市教委教育支援課)	○夏期研修会(8/21・22) ・講演「教育相談」木村SC ・QU,特支 ・講演「ことばの教育」斎藤栄二教授(京大) ・講演「子どもの逸脱、暴力、問題行動とどう向き合うか」藤本祥史氏(京都府コースアシスターム)	○3ステージ毎に授業研究会の実施 ・教科部会において参観並びに交流 ・各教科部会毎の授業研究会の実施	○黄檜ウォーカー ・1,9年生の交流 □体育大会、文化祭での交流 □OBBAKUミーティング ・6,7年生の交流 □学園会組織 □「宇治学」絆科による5～7年生合同学習	○校内環境整備作業 ○子どもフェスティバル ○左義長 ○保護者のための進路セミナー	○学力診断テスト活用 ・夏期研修において府学力診断テスト、CRTの分析報告 □各教科重要単元系統表の作成 □五つの授業重点事項の設定 ◇「家庭学習の手引き」発行・活用	○実践報告会(11/21)

平成26年度 宇治中学校ブロック小中一貫教育

教育目標

ふるさと宇治を愛し、未来を展望し、たくましく生き方を求め続ける児童生徒の育成

めざす子ども像

ともに学び、考える児童生徒
たくましく生きる児童生徒
笑顔を大切にする児童生徒

推進組織

校長会

事務局(校長・教頭・コーディネーター)

9専門部会

取組の実際

宇治学部会

- 公開授業の実施(1/28)
菟二小で「手話・点字」の授業を公開した。事前研・事後研も行った。
- 課題検討
宇治学の小・中の接続をどのようにすべきかを考えることができた。

授業づくり部会

- 公開授業の実施(10/29)
宇治中で「比例とグラフ」の公開授業を行った。事前研・事後研も活発に行われた。
- 授業規律の交流
教室の掲示(話法・聴法)、ハンドサイン、話型などについての交流を行った。

いしずえ学習部会

- 学カテストの分析
- 宿題の交流
- 家庭学習の交流
- いしずえプリントの活用

交流・連携部会

- クラブフェスティバル(12/13)
ふるさと宇治21で部活動体験をスタンブラー形式で実施。当日は200名を超える小学生が参加。
- 吹奏楽部・鼓隊合同練習(1/17)
宇治中吹奏楽部と菟道小鼓隊クラブがベーシックトレーニングを実施。

教育相談・特別支援教育部会

- 模擬ケース会議の実施(8/21)
柴田長生先生の助言を受け、個別の児童・生徒についての模擬ケース会議を行った。
- 小中合同保護者懇談会(10/29)
保護者の方々の悩みや不安に耳を傾け、教師自身の子育て体験なども交流しながら懇談が進められた。

外国語・英語部会

- 公開授業の実施(10/17)
宇治中で「スピーチ活動を活かした授業改善」をテーマにした公開授業を行った。事前研・事後研も活発であった。

特別活動部会

- 新入生体験入学(11/12)
中学校生徒会本部役員がすべてを運営した。小学校からの要望を可能な限り受け入れて実施した。
- 活動内容交流
年間を通した二小一中の特別活動(集団行動・仲間作り)の交流を行うことができた。

生徒指導部会

- 問題行動の交流
- 生活実態アンケートの交流
- 生活規律・授業規律の交流
- 6年生児童の実態交流

人権・道徳部会

- 公開授業の実施(10/16)
菟道小で人権学習の公開授業を行った。他校の部員の参加がなかったため、事後研は行えなかった。
- 東日本大震災に関わる教材の交流
各校の教材を持ち寄り、内容等の紹介を行った。

成果と課題

- ・4つの専門部会で公開授業とそれに伴う事前研・事後研が実施できた。
- ・小学生の中学校体験をいろいろな形で実施できた。
- ・各専門部会の開催日を画一的に限定せず、3回目については自由に設定するという今年度の方法が適切か、検討を行う必要がある。

平成27年度に向けて

- ・公開授業については、引き続き4専門部会で実施する。実施校については、年度当初に確認する。また、各校は公開授業への参加について十分な配慮を行う。
- ・校長会、事務局会議、コーディネーター会議の更なる活性化を図る。

平成26年度 北宇治中学校ブロック小中一貫教育

めざす子ども像

- ・自ら考え、自発的に表現できる子 (知)
- ・人と地域とのつながりの中で豊かな心を育て、他を大切にする子 (徳)
- ・運動に親しむことにより、楽しく生活できる子 (体)

平成26年度 研究テーマ
「質の高い学力を目指して、授業改善をすすめる」

質の高い授業

=

北宇治中学校ブロックの授業改善の4つの視点

+

学習意欲

質の高い学力

研究組織

北宇治中学校ブロック小中一貫教育推進委員会

企画部

- 校長部会
- 教頭部会
- 教務主任部会
- 研究推進部会
- コーディネーター部会

- 教科部会
- 教科外部会

北宇治中学校ブロックの授業改善に向けての4つの視点

- 基礎・基本の学力の定着を図る (いしずえ学習)
- 実施校の重点研究を生かす (自ら学び、自ら考え、表現できる子を目指す授業)
- 子ども達の主体的な授業参加を目指す (学び合う活動・学習意欲を継続させる授業)
- 授業規律を維持する

合同授業研究会の取組

小・中学校の教師が協働し、指導方法のや教材研究等の交流を行い、研究授業の指導案作りに取り組む。
年間3回(6月、8月、10月)の教科部会を開催

教科外部会の取組

小・中学校の教師が協働し、生徒指導、教育相談、宇治学、学力充実、児童・生徒会交流の各部で、教科外の連携を図る。
年間2回(8月、2月)の教科部会を開催

合同講演会の取組

小・中学校の教師、保護者、地域の方々が一堂に会して、児童・生徒の健全育成を目指す場としての講演会を設定。
講師は、生徒指導の研究で著名な桶谷守京都教育大学教授。
6月21日(土)に開催

成果と課題

- 成果 ☆ 協働しての授業研究・指導案づくりが定着してきた。
☆ 生徒指導・教育相談等の教科外の情報交流もスムーズに行われた。
- 課題 ★ 活動が部会毎で分散化してしまっている。
★ 学力向上に向けての具体的な手立てが焦点化されていない。

平成27年度に向けて

- ☆ 「授業改善」に向けての組織の再編に取り組む。
- ☆ 小中で連携して、学力分析を行い、対応策を協議する。
- ☆ 9年間を見据えた基盤作りとしての小小連携にも取り組む。

平成26年度 榎島中学校ブロック 小中一貫教育 マキシマム・プラン

- 小中一貫教育目標とめざす子ども像**
「豊かな人間性と未来を創造する子どもの育成」
- 心身共に健康で、明るく活動する子
 - 意欲的に学び、深く考え、豊かに表現する子
 - 地域でつながり、共に支え合い、高め合う子

推進組織

夢・未来会議

(各校校長・教頭・教務主任)

コーディネーター会議

小中合同部会 教科部会

取組

教職員研修

- 小中合同研修会 (6/20、8/18、11/21)
- 小中合同部会・教科部会
- 小中合同公開授業研究会

児童生徒交流

- 小学生の中学校体験入学 (11/12)
- 中学生の職場体験 (10/28~30)
- 陸上運動交換記録会 (10/10)
- 小中学生主張交流会 (3/6)
- 児童会・生徒会挨拶運動 (10/27、28、12/16、17)

保護者地域連携

- 北榎島小学校区青少年健全育成協議会「夏祭り」(8/2)
- 北榎島小学校区餅つき&クリーン運動 (1/17)
- 榎島小学校区左義長 (1/10)

成果と課題

◇チーフコーディネーターが関係校に出向き、連絡・調整・共通理解を進め、取組を計画的に実施することができた。

◇教職員研修では、ブロックの学力分析やそれを踏まえた合同研究授業を3教科領域で実施し、児童生徒の課題に迫る研究を推進することができた。

平成27年度に向けて

◇小中教員の連携した指導や小学校高学年での交換授業等での成果を日々の授業や実践、合同研修や合同研究授業を通して深めながら、「授業改善システム」の統一と授業改善、指導充実を図る。

◇各校の様々な行事や取組を小中一貫教育の視点で工夫改善を図りながら、保護者・地域に公開していく。その中で素晴らしい児童生徒のモデルや交流場面を示すことを積極的に進め、小中一貫教育についての保護者・地域の理解を深める。

小中一貫教育目標 めざす子ども像

小中9年間を通して 地域と共に 子ども達のゆたかな心と 確かな学力をはぐくむ

- ・ゆたかな表現力と自分の考えを持ち 互いの思いを伝え合う子
- ・地域とつながり 思いやりの心を大切にする子
- ・健康に気をつけ 自らの目標に向かってがんばる子

推進組織

ブロック推進委員

- 校長部会
- 教頭部会
- コーディネーター会議
- 養教・栄養部会
- 事務部会
- 3部会(学力充実・向上部 児童生徒理解部 児童生徒交流部)

学力の充実・向上

児童生徒の学習意欲を高める

家庭学習促進実践研究指定事業

- 各校学力テスト分析による児童生徒の学力実態の交流
- 小中合同授業研究会(事前研・授業・事後研) 8/22・11/13
- 家庭学習の推進(「家庭学習のすすめ」発行)
- 児童生徒保護者の家庭学習アンケート分析

「教育講演会」



「学びノート」



「小中合同授業研究会」



児童生徒理解

児童生徒の課題解決に迫る

- 児童生徒実態交流 7/31
- 小中9年間を見通した学習規律の確立
- 「健康だより」「朝食レシピ集」の発行

「合同研修会」



「朝食レシピ集」



児童生徒交流

9年間を見通したリーダー育成と集団づくり

- 体験入学(6年生が授業と部活動) 12/2
- 職場体験(中学2年生が小学校に) 6/19
- 児童会生徒会合同学習会 12/10
- 合同募金活動 12/13
- あいさつ運動
- デイサービス訪問 6/27

「部活動体験」



「職場体験」



「合同募金活動」



成果と課題

- ・小中合同授業研究会では、「学習意欲を継続させる授業展開」をテーマに、各教科ごとに視点を明確にした討議ができた。
- ・「家庭学習の手引き」や「学びノート」を活用した家庭学習の充実に取り組んだ。
- ・子どもの実態に即した有意義な教員向けの講演会が実施できた。
- ・「小中一貫教育推進ニュース」「家庭学習のすすめ」を発行した。

H27年度に向けて

- ・3部会の運営をより計画的に行い、児童生徒の理解や活動に生かす。
- ・引き続き「家庭学習」について、小中及び小中の連携を大切にして取り組む。
- ・合同授業研究会で、授業改善を柱に3校の教員が協働して授業作りに取り組み、指導力の向上を図る。
- ・児童生徒理解を深め、より明確な手立てや取組の具体化をはかる。

平成26年度 **西宇治中学校ブロック小中一貫教育**
 Nishiuji(西宇治中学校) ☆ Iseda(伊勢田小学校) ☆ Shinmei(神明小学校)

教育目標

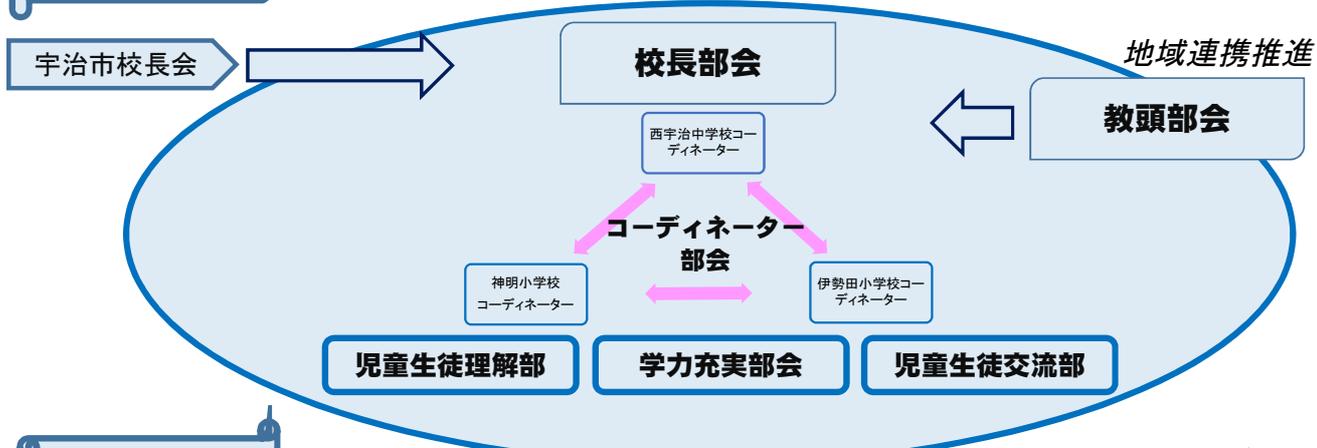
自立への学びと社会性の育成を推進し、心豊かでたくましい人間を育てる

取組の重点

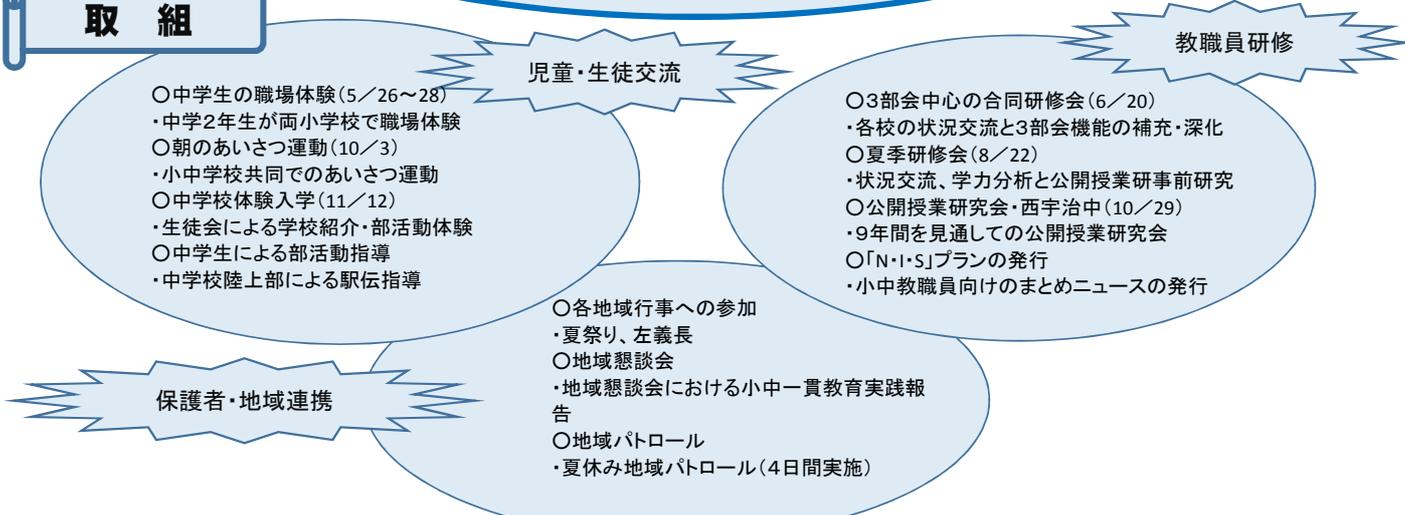
進路指導を見据え、学力向上の取り組みを基本におく

組織

西宇治中学校ブロック小中一貫教育推進委員会



取組



成果と課題

- ・中一ギャップ解消に向けて、小学生の児童と中学校の生徒との交流が図れた
- ・小中一貫教育を視野に、中学校と小学校の教職員等の連携強化が図れた
- ・小中一貫教育の意義をさらに理解し、小学校と中学校の連携を一層深めていく必要がある

27年度に向けて

・持続的継続を念頭に置きながら、さらに小中一貫教育の内容の精選や補充深化を図り、より一層有効な取組に発展させていく必要がある。

平成26年度 南宇治中学校ブロック小中一貫教育

教育
目標

夢や希望を持ち、未来をたくましく生きぬく児童生徒

取組の
重点

児童生徒交流の取組の充実を図る。
学力、進路を保障する取組の充実を図る。

推進組織

推進委員会

ブロック校長会

コーディネーター会

・児童生徒理解部会 ・国語部会
・外国語活動・英語部会
・算数・数学部会 ・宇治学部会
・連携授業部会 ・事務部会

小小連携

- 宇治学小小連携授業
 - ・「帰国児童生徒理解学習」西大久保小6年
(平盛小日本語教室担当・南宇治中中文拳)
 - ・「宇治茶」平盛小4年
(西大久保小教員)



児童・生徒交流

- 中文拳交流(6/26 平盛小2年)
- 授業体験・部活動体験(10/7 平盛小、西大久保小6年)
 - ・小学生が授業と部活動を通して中学校生活を体験
- 児童会生徒会合同あいさつ運動(11/4~11/7)
 - ・三校の校門前であいさつ運動を実施
- 地域清掃ボランティア活動
 - ・校区内を三校の児童生徒で清掃活動
- 中学校入学説明会
- 中学生によるクラブ支援
 - ・1/27 西大久保小(卓球)
 - ・1/30 平盛小(野球)



教職員研修

- 合同研修会(5/15、5/23、6/25)
- 夏期合同研修会(8/22)
- 授業研究会
 - ・外国語活動部(10/21 平盛小、11/12 西大久保小)
 - ・国語部(12/18 平盛小)
- 宇治学部フィールドワーク



成果と課題

・年間計画に基づいて、児童・生徒の交流の機会を数多く持つことができ、小中間のつながりを深めることができた。小小連携を意識した取組も実施できた。また、教職員研修も実施

平成27年度に向けて

- ・コーディネーター会、推進委員会を計画的に実施し、実りある取組を推進する。
- ・9年間を見通した系統的・継続的学習指導を進め、併せてことばの力の育成を図る。
- ・小中一貫だより、学校だよりの発行をはじめとして、積極的に保護者、地域へ情報を発信する。



宇治ひろの学園 教育目標 : 夢や希望をもって未来を切り拓ける児童生徒の育成

推進組織

学校運営部会
(3校長)

事務局部会
(コーディネーター部会)

学力部会

児童生徒理解部会

児童生徒交流部会

その他の部会

小小学年部会

26年度の取組



★児童生徒が交流する取組

- ・HOT-MEETING (3校合同児童生徒会) の実施
- ・HOT-STUDY (中学校 新入生半日入学)
- ・3校でのエコキャップ・プルタブの回収
- ・クラブアシスタントティーチャー (中学生の小学校クラブへの参加)
- ・中学生による小学生への紙芝居の読み聞かせ
- ・福島ひまわり里親プロジェクトへの参加 他



★学力充実の取組

- ・板書カード・授業システム・家庭学習の手引き
- ・全国学力・学習状況調査、府学力診断テスト、CRT テストの結果分析と課題の共通理解
- ・小学校高学年での「教科担当制」
- ・家庭学習の研究『家庭学習促進実践研究指定』(自主学习ノート、家庭学習支援員の活用 等)
- ・中1振りスタへの小学校教員の参加 他



★教職員が交流・共同研究する取組

- ・宇治ひろの学園研究会の開催
(5月総会、8月夏期合同研修会)
- ・2小学校教員による小中交流の充実
- ・各校授業研究会への参加
- ・小学校教員による中学校の部活動見学
- ・中学校教員による小学校体験研修の実施 他



★保護者・地域と交流する取組

- ・3校合同地域懇談会の開催
- ・3校合同教育講演会の開催
- ・演題『学力向上を目指した学校づくりの取組
—小中、地域、家庭との連携を通して—』
(講師：福井市立光陽中学校長・PTA会長)
- ・3校合同保護者懇談会の開催
テーマ『見えていますか？我が子のこと、
家で勉強・・・していますか?』
- ・子どもの主張大会 (大久保学区青少年協主催) 他



平成 26年度の成果

- ・児童会、生徒会を中心に多彩な取組を進めることができた。プルタブ回収では、10年間の取組の成果として車椅子の寄贈を受けた。
- ・小中一貫教育を支える小中連携に力を入れ取組を進めることができた。
- ・家庭学習促進実践研究を小中一貫教育の取組に組み入れ、研究を進めることができた。
- ・3校の授業研究会へ参加し合い、各校での「伝え合う力」を育てる授業の研究に生かすことができた。
- ・小学校での児童の学習や生活の様子を知る機会として、中学校教員による小学校体験研修を行うことができた。
- ・3校合同での地域懇談会や教育講演会、保護者懇談会を開催するなど、学校、家庭、地域で連携・協力しながら小中一貫教育を進めることができた。
- ・3校の行事予定表やHOOP (宇治ひろの学園小中一貫だより) を作成して家庭や地域に配付したり、ホームページを活用したりして、小中一貫教育について積極的に情報発信することができた。

平成 27年度に向けて (課題)

- ・各校の教職員の交流や共同研究を充実させ、日常的な取組を定着させる。
- ・小中連携を更に充実させて有効活用し、無理なく効果的な小中一貫教育の取組を進めていく。
- ・2年間の家庭学習促進実践研究の取組を生かして家庭学習の定着、学力充実につなげる。
- ・家庭、地域に対して「目に見える取組」を更に展開していく。

平成26年度 東宇治中学校ブロック小中一貫教育

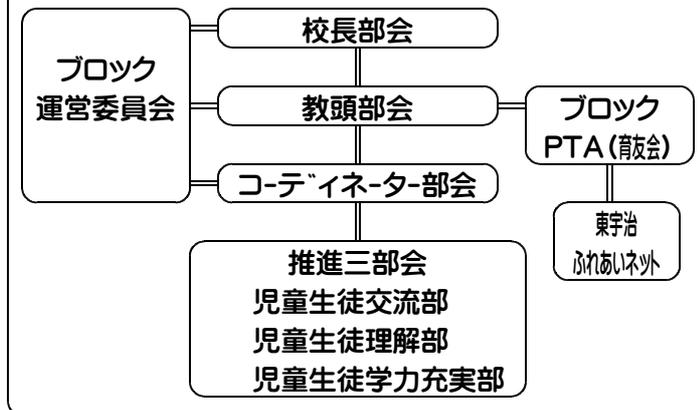
東宇治中学校 南部小学校
三室戸小学校 岡屋小学校

東宇治中学校ブロック
小中一貫教目標
「命を輝かす人間」

めざす児童生徒像

- 「自ら学び学習する児童生徒」
- 「たくましく生き抜く児童生徒」
- 「思いやりのある児童生徒」
- 「健康や安全を考える児童生徒」

推進組織



取組の内容

教職員の研修

- ・小中合同授業研究会
5/14 東宇治中学校1年生
- ・小中合同夏季研修会
8/22 京都大学黄檗プラザ
全体会「子どもたちのネット利用について考える」
華頂短期大学 浅田 瞳先生
分科会 児童生徒学力充実部会
家庭学習の手引きについて
本ブロックの学力実態について
分散会
児童生徒理解部会
中学校の生徒指導の事例交流
各校の取組について
児童生徒交流部会
本年度の活動について
各校の取組について

保護者・教職員の研修

- ・保護者合同研修会(三室戸小学校PTA企画)
11/5 東宇治中学校
「子どもが進んで学ぼうとする力の育成」
京都教育大学 村上忠幸先生

児童生徒の交流

- ・東宇治中学校半日体験入学 11/12
- ・中学生陸上部員による宇治市小学生駅伝に向けての指導
10/22 三室戸小学校
- ・小学校育友会行事への中学生の参加
12/20 南部小学校「冬のお楽しみ会」
- ・中学生美術作品の小学校での巡回展示
10月～12月
- ・中学生ボランティア活動で作製した「寄せ植え」の小学校寄贈
6/26、11/27
- ・児童会と生徒会の協力によるエコキャップ集め
2/18 最終集約のセレモニー

地域行事への参加

- ・おおばくまつり(東宇治ふれあいネット主催)
12/14 黄檗公園

成果と課題

- ・多様な取組を継承し実行することができた。
- ・合同研修会や推進三部会で、本ブロックの児童生徒の実態に応じた研究・研修を進めることができた。
- ・「家庭学習の手引き」をつくることができた。
- ・取組を検証し、さらに改善を図る必要がある。
- ・家庭や地域への情報発信を積極的に行う必要がある。

平成27年度に向けて

- ・取組の評価、点検、改善を図る。
- ・推進組織を機能的に運用することによって小中一貫教育を推進する。
- ・小小連携や小中合同授業研究会の充実を図る。
- ・地域・PTA(育友会)行事への参加や家庭・地域への情報発信を積極的に行う。

平成26年度 木幡中学校ブロック 小中一貫教育

教育目標

故郷（ふるさと）で夢や希望をはぐくみ、未来を切り拓く児童生徒

推進組織

ブロック校長会

ブロック教頭

一貫教育推進委

- ・ 6 教科部会
- ・ 8 領域部会

児童・生徒交流

小学生半日体験入学（11/12）
中学校部活による小学校訪問
・ 駅伝指導・吹奏楽部演奏
・ スポーツ教室
児童会生徒会交流会
三校交流による小小連携
学習の手引き・春休みの宿題

教職員研修

小中連絡会
合同研修会
第1回（6/2）全体会・領域部会・教科部会
第2回（8/22）全体会・領域部会・教科部会
第3回（11/19）授業研究会・教科部会
中学校教職員の小学校への参観
小学校教職員の中学校研究会・文化祭への参加
小大連携（理科）
教科連携（体育）

取組の実際

各校の小中一貫教育コーナーの設置
小中一貫だより（児童生徒保護者向け・教職員向け）の配布
中学校生活だより6年生への配布
青少協事業で取組紹介
運動会・体育祭・文化祭へ相互参観

保護者・地域連携

成果と課題

小中一貫教育の全体研修会・領域部会・教科部会、小中学校双方の教師の行き来、小中学生が直接交流する取組、情報発信いずれも定着している。研究の方向性、領域部会と教科部会の担当者の重複に課題がある。

平成27年度に向けて

研究の具体的な方向性を掲げる。
ブロック内の教職員の意識を高め研究や連携の一体感を作り出す。
「教科と領域」から「教科または領域」の単一での参画へ移行する。
合同研修会と公開授業の内容と実施方法を整理する。

教育目標

高い志を持ち、他者と協調しながら、たくましく生き抜く人間を育成する。

めざす子ども像

- ・高い志を持って、学びの道を究める人(質の高い学力)
- ・さわやかな心、優しい心を持った人(豊かな人間性・社会性)
- ・強い意志を持って、人生を切り拓く人(意欲や情熱、健康な体)

推進組織

学校経営方針

※推進組織はすべて小中合同で運営

企画委員会

職員会議

前中後期主任会

領域A部会

- ・学力充実
- ・生徒指導
- ・教育相談
- ・特別支援
- ・特別活動

領域B部会

- ・教科部会
- ・専門教育部会

取組の実際

児童・生徒交流

- 黄檗ウォーカー(1・9年生の交流。入学間もない1年生に、9年生が校内の案内を行う。)
- OBAKUミーティング(進級を控えた6年生の不安や疑問に、7年生が膝をつき合わせて本音で答える。)
- 学校行事での児童・生徒交流、相互参観
- 学園会(児童生徒総会)組織づくり

教職員交流

- 小中合同研修会の実施
- 小中合同教科部会を中心とした授業参観・研究授業の実施
- 小中合同教科部会を中心とした重要単元指導事項系統表の作成
- ステージ毎の授業研究会の実施
- 小中合同授業重点事項の共有化

保護者・地域連携

- 地域懇談会
- 校内環境清掃活動
- 校区パトロール
- 子どもフェスティバル
- 左義長
- 親のための進路セミナー

成果と課題

1～9年生が共に学ぶ中で、下級生は上級生の背中を見て学び、上級生はその自覚を持つことで自律的な態度を身に付けています。また、児童生徒の発達の特性に基づく、前期・中期・後期の3ステージを意識した指導、学校行事での児童・生徒相互乗り入れ等の取組により、9年間を通した自己実現力を育成すると共に、小学校から中学校へのなだらかな接続が、「中1ギャップ」の解消につながっています。教職員も、小中合同で学園の取組を計画・実行したり、研究を推進したりするなかで一体感が育まれてきています。今後は、これらの取組がより教育効果の高いものになるよう、一層改善していきます。

平成27年度に向けて

これまでの成果を着実に継承していくとともに、児童生徒、保護者、地域の皆様の声に真摯に耳を傾け、より教育効果の高い実践を進めていきたいと考えています。さらに、学習指導においては、英語科・国語科を基盤に全ての教育活動を通して「ことばの学び」のデータベースを構築させることにより、「ことばの力」の充実を図り、意欲的・主体的な学びによる質の高い学力の形成を目指します。

平成26年度宇治市小中一貫教育推進協議会の活動報告

1 協議会の活動

小中一貫教育に関する取組全般の進行管理を行い、取組内容の点検確認とともに改善について意見の交換等を行う。

2 26年度活動計画

(1) 協議会（年2回開催予定）

①第1回協議会 7月17日（水）

②第2回協議会 3月開催予定〔年度末進行管理〕

※本協議会は必要に応じて会長が招集する。（本協議会設置要項第6条）

(2) 取組視察（2学期予定）

中学校ブロックの取組を視察し、その後現地にて交流・協議を行う。

- ・視察受け入れ可能な取組を委員が選択し参加する。
- ・学校と小中一貫教育推進協議会委員の交流・協議の場をもつ。
（管理職や小中一貫教育コーディネーター等に対応をお願いする）

(3) プロジェクトチームの設置

本年度はプロジェクトチームの設置予定なし。

3 26年度活動報告

(1) 協議会

①第1回協議会 7月16日（水）

②第2回協議会 3月4日（水）

(2) 取組視察

日付	視察校[中学校ブロック]	取組内容	視察委員
10/7(火)	南宇治中学校 [南宇治中学校ブロック]	中学校半日入学体験	大越委員
10/24(金)	小倉小学校 [北宇治中学校ブロック]	授業研究会	伊家委員
10/29(水)	西宇治中学校 [西宇治中学校ブロック]	授業研究会	榊原会長
11/12(水)	東宇治中学校 [東宇治中学校ブロック]	中学校半日入学体験	松井委員
11/13(木)	西小倉中学校 [西小倉中学校ブロック]	授業研究会	肥川委員
11/13(木)	黄檗学園 [黄檗中学校ブロック]	学園会(児童生徒会)選挙	奥村委員
11/19(水)	木幡中学校 [木幡中学校ブロック]	授業研究会	事務局
11/21(金)	槇島小学校 [槇島中学校ブロック]	授業研究会	田邊委員
12/13(土)	宇治中学校 [宇治中学校ブロック]	地域行事	薮副会長
2/26(火)	大久保小学校 [広野中学校ブロック]	児童生徒交流	事務局

※全中学校ブロック（委員視察は8中学校ブロック）の取組視察を実施

〔2中学校ブロックは事務局のみ〕

※委員視察時に視察ブロック関係者と意見交流や協議を実施

〔学校関係者委員視察時を除く〕

日付	団体名	府県	人数	視察校
5月15日(木)	磐田市教育委員会	静岡県	7	宇治黄檗学園
5月22日(木)	亀岡市教育委員会	京都府	10	宇治黄檗学園
6月12日(木)	八尾市教育委員会	大阪府	7	宇治黄檗学園
7月4日(金)	栲原市教育委員会・栲原学園	高知県	5	宇治黄檗学園
7月24日(木)	美浜町議会	和歌山県	6	宇治黄檗学園
8月4日(月)	津山市立北陵中学校区校長会	岡山県	5	なし
8月7日(木)	五條市学校規模適正化検討委員会	奈良県	21	宇治黄檗学園
9月8日(月)	女川町教育委員会	宮城県	4	大久保小学校 宇治黄檗学園
9月18日(木)	三木町教育委員会	高知県	8	広野中学校
10月30日(木)	富士市教育委員会	静岡県	3	宇治黄檗学園
10月30日(木)	武蔵野市教育委員会	東京都	4	宇治黄檗学園
11月13日(木)	佐藤総合計画株式会社	大阪府	1	宇治黄檗学園
11月19日(水)	熊谷市議会	埼玉県	14	宇治黄檗学園
12月2日(火)	亀岡市小学校長会	京都府	14	広野中学校
12月9日(火)	大道中学校	山口県	1	宇治黄檗学園
12月16日(火)	福岡市教育委員会・住吉中学校区	福岡県	5	宇治黄檗学園
1月26日(月)	津市教育委員会・天栄中学校区	三重県	7	三室戸小学校
2月2日(月)	磐田市第一中学校区	静岡県	3	宇治黄檗学園
2月3日(火)	公立学校施設整備期成会	奈良県	20	宇治黄檗学園
2月5日(木)	岩国市議会	山口県	4	なし

※計20団体、149名 他に宇治市教員が他市町村研修会に講師として参加(3回)